

国 語（３年生） 学習案内

◎中学校の国語科では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」を目標としています。

◎そして中学３年生の国語では主に次のような教材を扱う予定です。場合によっては別の教材に替えることもあります。

期	月	学習内容	期	月	学習内容	期	月	学習内容
1 学 期	4	知識・技能 呉音・漢音・唐音 助詞のはたらき	2 学 期	8	知識・技能 助動詞のはたらき 四字熟語 異字同訓 慣用句・ことわざ	3 学 期	1	知識・技能 自分の意見を述べるとき
	5	熟字訓 和語・漢語・外来語 思考力・判断力・表現力等		9	コミュニケーションの場を考える 思考力・判断力・表現力等		2	思考力・判断力・表現力等 持続可能な未来を創るために
	6	春に 立ってくる春 なぜ物語が必要なのか 情報を確かめてスピーチをする		10	async—同期しないこと— 問いかける言葉 説得力のある批評文を書く 実用文の情報を捉えて生かす		3	一人間の生命・存在を考える— 生命とは何か 水の星 地球は死にかかっている
	7	私 薔薇のボタン 構成を工夫して主張をまとめる メディア・リテラシーはなぜ必要か？		11	ニュースで情報を編集する 旅への思い—芭蕉と『おくのほろ道』— 和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集—			「対話力」とは何か 意見を共有しながら話し合う
		新聞が伝える情報を考える AIは哲学できるか 客観性や信頼性のある記事を書く		12	風景と心情—漢詩を味わう— 最後の一句 俳句の味わい 故郷 自己PR文を書く 評価しながらスピーチを聞く			中学校生活をまとめて作品集を作る バースデイ・ガール 青春の歌—無名性の光 やわらかな想い

評価の観点

この3つの観点を
評価していきます

主体的に学習に取り組む態度

→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送ろうとしているか

言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に
して、思いや考えを伝え合おうとしているか。

・自己の課題の調整力 ・粘り強さ



知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。

- ・言葉の特徴や使い方
- ・情報の扱い方
- ・我が国の言語文化



思考力・判断力・表現力等

→理解していること・できることをどう使っているか

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を
養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高
め、自分の思いや考えを確かなものになっているか。

・話すこと、聞くこと ・書くこと ・読むこと

★評価の方法

国語科では、3つの観点を主に次のような方法で評価します。

○知識・技能

小テストや定期テスト等を通して、知識の習得や概念的な理解を調べたり、その知識や技能を用いる場面を設定し、習熟度を測ったりします。主に漢字や古典、文法、書写、情報の扱い方や読書等で評価します。

○思考力・判断力・表現力等

小テストや定期テスト、レポート、論述やグループでの話し合い、発表、作品の制作などを通し、思考力や判断力、表現力を評価します。主に記述された文章やまとめ方、発表等での話し方、聞き方、物語文や論説文の読解内容を評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

小テストや定期テスト、ノートやプリント、ワーク等を通して、「知識・技能」を習得したり「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し学習の進め方について試行錯誤するなど、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意欲面を評価します。また、粘り強く取り組んでいるかどうかも大切です。そのために、決められたことや板書を書き写すだけでなく、自分なりに考えたことや調べたことを書き加えられているかを確認します。さらに、提出物や課題を忘れずに取り組んでいるかどうかや、授業での様子を評価します。